

毎月1回20日発行

(昭和31年3月28日第三種郵便物認可)

# 山と博物館

編集責任者 大町山岳博物館



## 完成された 大町山岳博物館

思えば五年間という才月は長いようで短いものである。終戦後の混乱に世をあげてまきこまれていた当時、大町の青年たちの求めた文化意志は博物館の設立へと結集された。この熱意のひきおこした連鎖反応は、市民の積極的援助となり大町は博物館建設に一丸となって二十六年十一月一日、大町神楽町地籍に開館をみた博物館も、この七月一日を期して新館に移転することになった。しかしながら、開館日なお浅い当館の未完成状態を脱してより完全なものとなるために皆さんの善意ある御批判と御助言を心から期待する。

号外普及版 1957年5月15日

大町山岳博物館後援会 発行

# 後援会の展望

## 「山の博物館」の育成

### 全国的支援の下に

北アルプスの麓大町に 山岳博物館が設立されてから6年になります。この間大町市は苦しい地方財政下にありながら、鋭意これが充実してまいりました。幸い昨年度は久しく懸案であった館の拡大新築が実現し、今後の発展の基礎が築かれました。又更に居谷里湿原総合調査、奥黒部地域雨量観測、映画「白い山脈」の撮影指導など、館の事業面においても日本的な博物館として注目されるようになったことは山岳愛好者の皆様と共に喜びにたえません。大町山岳博物館は単に地方の文化センターとしてのみでなく、日本山岳界のセンターとして、また登山者のメッカとして、日本を代表する世界的な山岳博物館を目指して設立されたのであります。そして今、大町山岳博物館は黒部自然園の開設という国家的大運動に着手しました。しかしながらこのような大構想の実現は、全国の理解ある多数の方々のバックアップがあってこそ、はじめて可能なのであります。昨年私たちは山岳博物館を外かくから援助し、特色ある本邦唯一の施設として育て上げるために、御理解ある方々の御賛同を得て、大町山岳博物館後援会を組織し、「山と博物館」の発行、その他二、三の事業を推進してまいりました。今年度は後援会を郷土出身者、あるいは全国山岳団体等による「山岳愛好者の集い」として全国的規模に拡大強化し、ますます事業の活発化をはかり、「山の博物館」を育成して行きたいと思っております。やがて完成された理想的な山岳博物館が、広く全国から訪れる登山者、観光客、学生等のために利用の便を与え、より有意義な活動を展開できるならば、私たちのこの上ない喜びと存じます。なにとぞ趣旨に御賛同下さって、御協力、御支援賜るよう御願ひ申し上げます。

### 会の規約

- この会は大町山岳博物館後援会といひ、事務所を長野県大町市大町山岳博物館内におく。
- この会は会員相互の親睦をはかり山岳文化の普及向上につとめ山岳博物館の育成に参画する。
- この会は次の事業を行う。
  - 月刊紙「山と博物館」の発行。
  - 登山、スキー、ハイキング。
  - 講習会、講演会、映画会、展覧会、採集会、見学会等の普及事業。
  - 登山、スキー、観光案内所、登山みやげ品販売所、登山者宿泊所の開設。
  - 遭難防止及び遭難救助対策の確立。
  - 山岳の自然保護、資料の収集、保管、展示、調査研究活動。
  - その他必要と認めた事業。
- この会には次の会費をおく。
  - (1)維持会員(本会に対し援助する団体または個人で一時金五千元以上を納入するもの)

### 大町山岳博物館指定山小屋一覽

山小屋名	収容力	宿泊料	開設期間	備考
大沢小屋	40	450	7.1~8.31	鹿島、針ノ木方面
針ノ木小屋	70	500	"	"
冷池小屋	80	500	7.1~9.15	"
種池小屋	40	500	7.1~8.31	"
舟窪小屋	30	500	"	葛烏帽子方面
烏帽子小屋	50	500	7.1~9.15	"
鬼鹿岳小屋	50	480	7.1~9.10	"

※上記山小屋利用の際は、使用一週間前に会員証同封の上御申込み下さい(返信切手8円同封のこと)一割引券が交付されます。

※宿泊料は2食付主食持参のこと。

- (2)特別会員(博物館の協議会において推薦するもの)
- (3)通常会員(年額千円以上を納める団体、年額三百円以上を納入する個人)

5、会員には次の特典がある。

- 博物館の諸行事を通知し参加の便をはかる。
  - 月刊紙「山と博物館」の他博物館で出版する印刷物を配布する
  - 博物館に支障のない限り、博物館の資料(標本、図書、写真、器具の借り出しをあつせんする。
  - 博物館に支障のない限り、施設の開放をする。
  - 団体においては講師、指導者派遣の求めに応じる。
  - 博物館を無料で観覧できる。
  - 博物館の指定する施設(例えば山小屋等)の割引を受ける。
- 6、この会には次の役員をおき任期は一年とするが、留任することもできる。

会長…一名 運営委員会で推薦し、總會で決める。

運営委員…若干名 会員中より選出し委員会を構成する。

庶務会計…一名 会長が推薦する。

7、この会には次の会合を行なう。

總會…毎年一回一月に行ない会務報告、役員改選などを行う。

運営委員会…必要に応じて随時開き会の運営を協議する。

8、本会の会計年度は一月一日から十二月三十一日までとする。

附則 本規約は總會において決め、改廃することもできる。

### 会の事務規定

- 「山と博物館」の編集は博物館で行ない会員は投稿することができる。
- 小・中・高校生で「山と博物館」の購読を希望するものは実費で販売する。
- 会員には会員證を交付する。会員證を受付へ提示すれば本館の無料観覧、諸行事への参観、その他種々の便宜のあつせんを受ける。
- 通常会員で団体会員は二十名以上とし会員名簿を提出するものとし、会員證は団体名で交付し会員名簿記入以外は使用することができない。「山と博物館」その他印刷物は団体宛二十部の配布を受ける。個人会員はその家族も会員證の使用ができる。
- 入会は氏名、住所、職業、年令を申込用紙に明記、規約第四項の会費をそえて申込みのものとする。
- 本会の通常会員は入会した日より向う一カ年で会員證の切かえと会費の納入をしなければならない。但し維持会員はその限りでない。
- 本会の会員證の切かえをしない時、会費未納の場合会員でなくなる。
- 本会の会員が二十名以上の場合支部を設置することができる。
- 本会には名簿、会計簿、備品台帳は常備しておかなければならない。
- 博物館資料、器具等の借用、施設の利用を希望するものは使用日の一週間前に規定申込用紙に記入博物館長宛申込みのものとする。
- 講師、指導者の派遣を希望するものは、一ヶ月前に事業の名称主権者、連絡先、申込団体名、期日、時間、場所、目的及び内容の概略、希望する講師、指導者を用紙に記入申込みのものとする。この場合の経費は原則として主権者側が負担するが博物館、もしくは後援会の事業としての助成もある。
- 博物館指定施設の利用を希望するものは博物館宛会員證をそえて申込みと割引券が交付される。

### 後援会組織による施設充当年次計画

○現代日本、世界の登山、スキー用具、山岳図書○全国山岳、スキー、観光写真○登山、スキー、観光案内所、登山土産品販売所、登山者宿泊所○世界、日本の高山生物飼育、栽培施設○水族館、子供動物園、遊園地○日本産サクラ属街路樹○山小屋、ヒュッテ、分館の設置、山岳気象観測所○山岳映画、新聞の製作、発行、その他図書刊行○各種学会、研究会の設置(山岳映画、写真研究会、山岳文学会、山岳美術会、山岳民俗研究会、登山、スキー技術研究会等)○山岳学校、ガイド養成所○世界、日本における山岳先駆者遺品収集○山岳遭難救助組織の確立





# 北アの銘酒

関東信越清酒品評会全点入賞

長野県清酒品評会優勝旗受領



薄井鏝大町醸造部  
長野県大町市 TEL 7



巖手市野屋商店  
長野県大町市 TEL 10



北安醸造株式会社  
長野県大町市 TEL 214



スキー  
登山用具

山の  
土産品は

信濃大町  
駅前 荒井運動具店  
TEL 480

写真の D・P・E は  
山岳写真専門店



信濃大町  
銀嶺堂写真店

TEL 563



## 北アルプスへ 大町口

長野県大町市観光課

電話(大町)420番

入会申込書

一、金 円也

右本会趣旨に協賛し昭和  
いたします。

年度後援会 維持  
常 会員として会費をとそ入会申込み

昭和 年 月 日

氏名

住所

勤務先

所属団体



大町山岳博物館後援会御中

切取線

購読申込書

貴会発行「山と博物館」昭和 年 月 日第 号より一ケ年間購読い  
たしたく購読料一七〇円（郵送料共）をそえ申込みいたします。

昭和 年 月 日



氏名

住所

学校名

大町山岳博物館後援会御中

切取線

※ 本会の会員は次の通りです

○ 維持会員。 。 本会に対し援助する団体又は個人で一時金五千円以上を納  
入するもの

○ 通常会員。 。 年額千円以上を納める団体、年額三百円以上を納める個  
人

※ 入会申込書の維持、通常の別はいずれかを未消して下さい

※ 「山と博物館」の購読者は小学生、中学生、高校生に限ります

※ 会費および購読料は現金書留、郵便為替で、長野県大町市大町山岳博物館後

援会宛御送金下さい